



小川一成の県政報告



発行 小川一成
〒302-0125
守谷市高野646
TEL.0297-48-1064

守谷犬好き、自然大好きの小川一成が皆様の声を県政に届けます。

県議会代表質問(2月28日)

茨城県議会が2月25日から3月20日開催されました。

今定例議会において、私は「いばらき自民」を代表して質問をする機会を頂きました。

せっかくの機会でしたので、守谷市の皆様に声をおかけしたところ、500人を超える方々に傍聴に来ていただき感謝の思いでいっぱいです。

この時の質問は、翌日茨城新聞の一面トップ記事で報道され大きく取り上げられました。質問のいくつかを紹介いたします。



橋本知事への質問

3月は予算議会ですから知事の県政運営と予算の基本方針について質しました。

特に、2020年東京五輪への対応についてお尋ねいたしました。

橋本知事は「来年度に全庁的な推進体制を整備したい。私が本部長を務め、各部長をメンバーとして基本的な方針を決定する」と述べ、推進本部を設置する意向を明らかにした。さらに、橋本知事は推進本部にキャンプ地誘致や観光客誘客などに対応する専門部会を設置する考えも示し、「官民一体となった幅広い連携の枠組みを検討したい」と述べました。

県警本部長には、車両盗難の対策強化について質問をいたしました。

答弁も含め100分の時間でしたが、質問は私なりに納得のいく内容であり、答弁も前向きな答弁であったと思います。

傍聴に参加いただいた皆様には本会議場に300席の傍聴席しかなく、中に入れないう方が200人も出てしまい、ご迷惑をおかけいたしました。



知事と記念写真

教育長への質問

「新渡戸稲造の武士道に学ぶ国際人の育成について」教育長に質問いたしました。

新渡戸稲造が武士道の中で示したものは、日本的な倫理や礼節、美意識であり、今の日本人とっても学ぶべき点の多い名著であります。

日本人の精神哲学を示唆するこの武士道こそ国際社会で通用する若者を育てる教育に活かすべきであります。

日本人の生き方、考え方を英語で紹介しているこの武士道は、今後高校生が国際社会で日本人の精神文化を発信する時の良き手本であり積極的な活用をすべきであると質しました。

小野寺教育長は「真の国際人として活躍するためには、英語が堪能なだけでなく、日本の歴史や伝統・文化をきちんと身に付け、日本人としてのアイデンティティーを確立することが大切です。そして県教委としては、高校2年生までの道徳教育必修化を目指し、明治から昭和に外交官として活躍した新渡戸稲造が英語で出版した著書『武士道』を教材に取り入れ、道徳授業の中でも国際理解教育の教材として活用し、グローバル社会に対応するため『武士道』は有効であり、実践的な高い英語力とともに、日本人として誇りを持つ国際人の育成につなげたい。」と答弁しました。

交通安全対策

けやき台住民の要望実現

昨年の10月31日、守谷市けやき台地区町会連絡会の1丁目から6丁目の区長連盟の要望書を取手警察署長に手渡しました。

国道294号線、西友楽市と中古車販売のガリバー店の交差点に右折の矢印信号機能を備えた信号機の設置についての要望です。

県警の素早い対応により、要望から4ヶ月で実現することができました。これで一安心です。



右折矢印信号が設置されました

実現

高野小学校通学路の道路改良

昨年の5月に高野小学校PTA役員から通学路が狭隘で交通量の激しい区間について何とかならないだろうかかと相談を受けました。直ぐに竜ヶ崎工事事務所の担当と現場を視察し、ふれあい道路交差点手前の道路改良の要請をいたしました。

その結果今年3月に要望どおりに完了しました。当初予算にもなかったところをよく努力をして速やかに工事を進めてくれた事に、改めて県土木部竜ヶ崎工事事務所の関係者の皆さんにお礼を申し上げます。



通学路の安全が確保されました

実現

チャーター便、茨城空港—ミャンマー行き第一便へ!

その記念すべき2月7日の第1便での研修視察に、茨城県商工会連合会48名の一員として参加しました。

茨城空港は国内98番目の飛行場として2010年に開港しましたが、当初から利用者がいない等の理由でだいぶ叩かれてきました。

何とか軌道に乗せたいと努力をした結果、現在スカイマークが神戸、札幌、米子、那覇に就航し4月からは福岡、名古屋にも飛ぶ事になりました。中国の春秋航空も上海便を運航しています。



茨城空港から出発

今回は最初にミャンマー第二の都市であり、ミャンマー仏教文化と信仰の中心でもあるマンダレーを訪問しました。

マンダレーはイギリスに併合されるまで独立を保った最後の王朝の首都でもありました。

マンダレー二日目は、マハガンダヨウン僧院を訪れて生活の一部を見せていただきました。小乗仏教のお坊さんは自らに厳しい修行を課すそうです。また、ヤンゴンでは日本貿易振興機構(JITRO)がジャパンフェスティバルを行っており、多くの日本企業の進出をつぶさに見る事ができました。

これを機にミャンマー航空もチャーター便から定期便として就航して欲しいと思います。



ヤンゴンのジャパンフェスティバル会場にて

党三役の、政調会長に就任

いばらき自民党は県議会最大会派で、43人の県議が全力で県政の課題に取り組んでいます。

県民の生活向上に向け、3月定例議会では、三つの政策条例を制定いたしました。私は政調会長として、43名の精鋭と共に県政発展の為に全力で取り組みます。



政調会長として新たな決意

東日本大震災 三周年追悼・復興祈念式典

3月11日に県庁にて「東日本 大震災三周年追悼・復興祈念式典」が行われました。

午後2時46分に黙祷をして被害を受けた方々に心からの哀悼の誠を捧げました。

式典では被害に遭われた、県立日立北高等学校1年生の佐藤愛実さんと鶴見大2年生の坂本峻輔くんが素晴らしい「復興への誓い」をいたしました。その後、つくば市立竹園東小学校の合唱部の皆さんが献唱を行い、参加者全員で献花がしめやかに行われました。



追悼式典

守谷サービスエリア(SA)の「Pasar(パサール)守谷」開業

常磐自動車道上り線の守谷サービスエリア(SA)に完成した新しい商業施設「Pasar(パサール)守谷」が3月19日に開業しました。人気の飲食店や土産店など21店舗がそろう、地元の農産物や加工品、県産食材を使ったメニューも数多くあります。

既存の施設を全面改修し、SAとして全国初となる防災拠点機能も備え、広域災害時には自衛隊や消防などの前線基地になります。

施設南側の「守谷SAやさい村」は守谷市の生産者35人で運営する農産物直売所。従来のテント営業から規模を拡大し、生産農家が育てたコメや野菜、果物など新鮮な農産物が並んでいます。

テープカットにお招きを受け、地元のわかば幼稚園の園児たちと一緒に100人でのテープカットをいたしました。



100人でのテープカット

「守谷みつばち夢プロジェクト」この指と〜まれ!

●「守谷みつばち夢プロジェクト」が今年もいよいよスタートします。

冬の間4ヶ月もミツバチから離れていたもので、前日の急な呼びかけにも関わらず多くの方に参加いただきました。

今回初めて参加する新人さんも交えて賑やかにハチの点検をいたしました。

三箱目までのミツバチは順調に厳しい冬を乗り切りましたが、四箱目が全滅、最後に開けた箱はやっと冬を乗り切ったが個体数が少なく女王バチもいません。これでは群れを維持出来ません。早急な立て直しが必要です。



厳しい冬を越したミツバチ

ベトナム社会主義共和国 チュオン・タン・サン国家主席来県

ベトナム社会主義共和国チュオン・タン・サン国家主席来日され、東京にも寄らずに、まっすぐ茨城県の農業の視察に来られました。

サン主席は挨拶の中でベトナムの7割が農業なので国家の最重要課題として取り組んでいるとの話しをされておりました。

歓迎会にはベトナムからの留学生や研修生も招かれており、研修生からは自らが作ったイチゴがプレゼントされました。

日越の交流が更に発展し茨城の農業技術が役立つことを期待しています。



ベトナム大使と

ボーイスカウト 守谷第一団の 東日本大震災の募金活動

3月9日ボーイスカウト守谷第一団は東日本大震災の募金活動を行い、私も団委員長として参加いたしました。

震災から3年目を迎えますが、未だに故郷に帰れない多くの方々が避難所生活を強いられています。

そんな方々に少しでも役に立ちたいと北風の中、声を張り上げて募金を呼びかけ、私も隊員達と一緒に大きな声でお願いをいたしました。

若者からお年寄りまで多くの方々の温かい心に触れて、募金を呼びかけながら胸が熱くなり不覚にも涙が出てしまいました。

238,672円の義捐金は4月3日に橋本知事に届けました。ありがとうございました。



東日本大震災の募金活動

郷州公民館祭り、北守谷公民館祭り開催

2月16日郷州公民館祭りでご挨拶をさせていただきました。

公民館を利用するサークルの皆さんが、プロも顔負けの出で立ちで歌、演奏、踊り、絵画や写真などレベルの高い発表を行っていました。

私も「押し花作品展」の体験コーナーで押し花ハガキにチャレンジしてみました。



押し花のグループの皆さんと

小川一成のひとりごと 国を動かす人たち

気のおけない仲間14人と1年ぶりに大いに語り合う機会に恵まれました。話題は自ずと日本の将来、復興、国家観から茨城の将来像まで幅広い議論となりました。メンバーはかつて国交省から茨城県の企画部長として出向し県土創りに共に汗を流した方々。復興庁事務次官の中島さんはH7年、私が初めて県議になった時の企画部長で、今も守谷で続けられているアーカスプロジェクトの良き理解者です。彼がいなければアーカスプロジェクトが今日まで続けることは困難でした。その中島事務次官は1月末に、人事異動があり『福島復興再生総局事務局長』を任命されたとの報告が席上ございました。ご栄転おめでとうございます。復興庁にはなくてはならない人です。また、花岡 国土交通省 国土政策局長さんも参加され、彼もまた共に県庁で仕事をした仲です。

茨城県議会議員 小川一成

〒302-0125 守谷市高野646
TEL.0297-48-1064 E-mail issei@alpha.ocn.ne.jp

小川一成

「小川一成のブログ」
とても面白い!

配信中

趣味の養蜂

